

愛南町の ブルーカーボンプロジェクト



愛南町役場水産課海業推進室



愛南町のご紹介

愛媛県愛南町の概要



愛媛県の最南端（松山から車で2.5時間）

総人口：約1.8万人（2025.4）
 来訪客数：約70万人（2021）
 主要産業：水産業、農業
 特徴：
 足摺宇和海国立公園に立地し、起伏に富んだ海岸地形、生業たる養殖業、柑橘畑が共存



養殖マダイは全国シェア約20%（約1.2万トン）



生鮮カツオ陸揚量は四国一（約1千5百トン）



河内晩柑(和製グレープフルーツ)は生産量日本一(約5,000トン)



日本の渚百選にも選ばれた須川海岸



通年出荷できるカキ



母貝養殖量日本一



彩り豊かなヒオウギ貝

海や漁村など地域の魅力を活用した地域活性化策 —『海業（うみぎょう）』を2023年4月から始動!!—



世界有数のソフトコーラルが群生するダイビングスポット



美しい日本の歴史的風景100選にも選ばれた石垣の漁村 外泊



ありのままの自然素材を活用した工作体験





愛南町の海業の方向性



海業とは：

海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業であって、
国内外からの多様なニーズに応えることにより、
地域のにぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待されるもの

『漁港漁場整備長期計画』より引用





ブルーカーボンプロジェクトを海業として位置づけ

「愛南町ブルーカーボン創出」プロジェクト

ウニッコリー



ブロッコリーを食べるガンガゼ



沿岸域の藻場

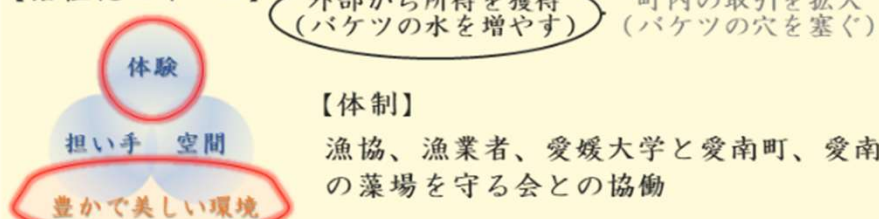


真珠母貝養殖筏（幹縄筏）



幹縄筏に繁茂する海藻

【活性化スキーム】



直近のスケジュール

	～令和6年度	7年度	8年度	・・・
藻場回復事業 (ウニッコリーの生産)	➡ (毎年11月～6月)	➡	➡	➡
生産事業の自立自営化	➡➡➡➡	➡➡➡➡	➡➡➡➡	➡➡➡➡
Jブルークレジット®認証 範囲拡大	➡➡➡➡	➡➡➡➡	➡➡➡➡	➡➡➡➡
Jブルークレジット®購入 希望者の公募 (5年度分)	○ (～4月)			

持続可能な取組を目指して

多主体連携
科学的評価
体験コンテンツ化

により収益化

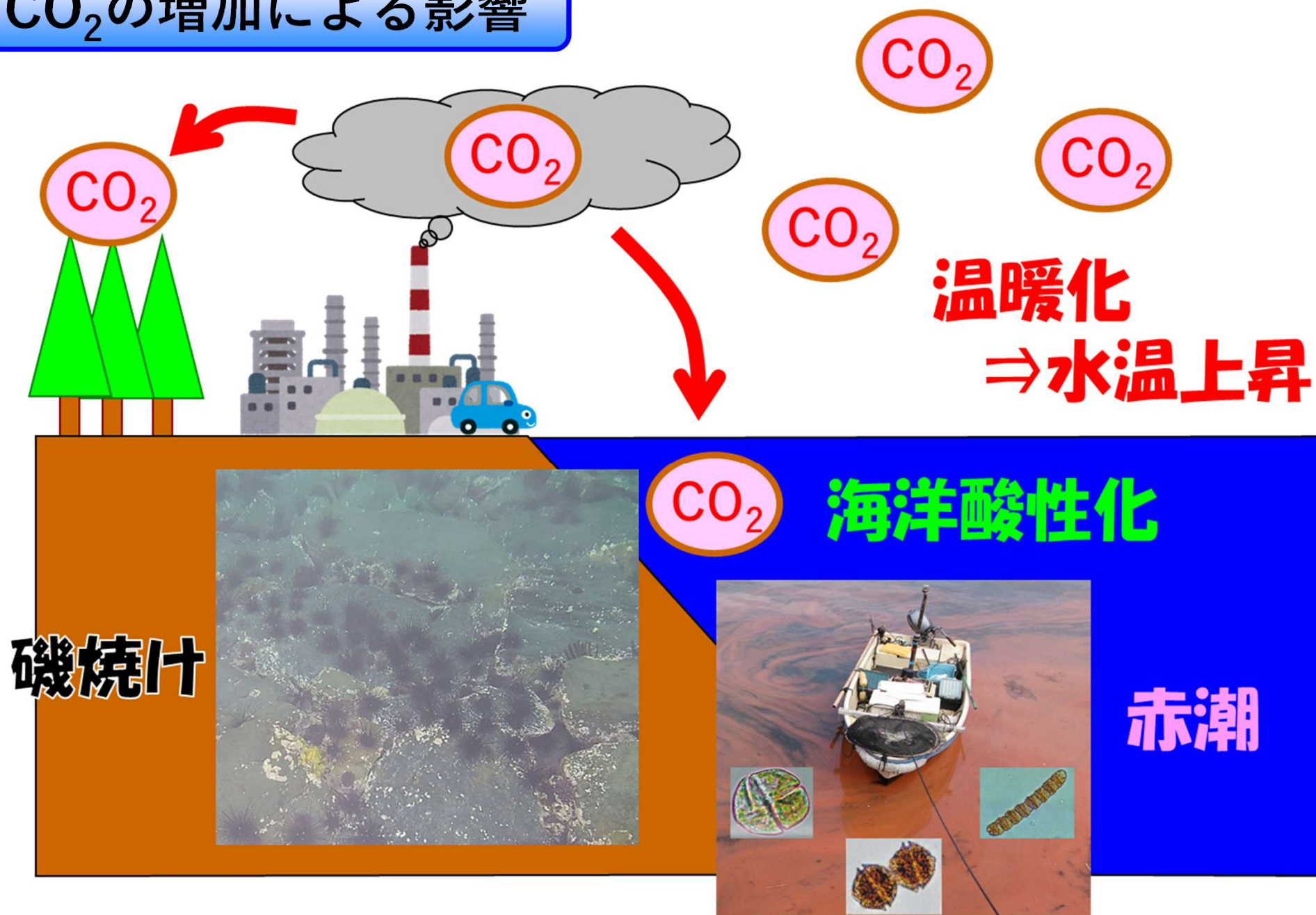
➡ 海業

赤字：海業のキーワード



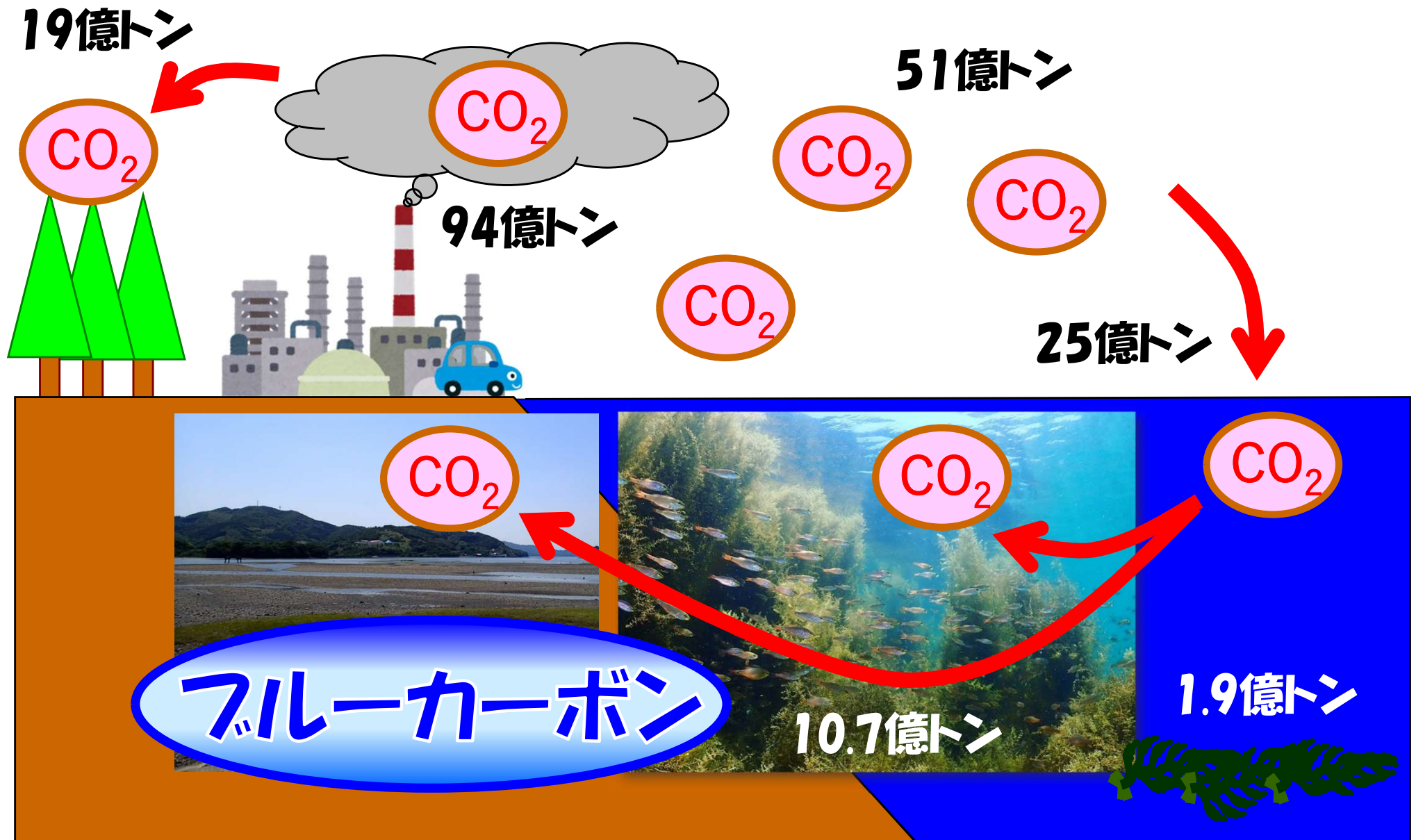
CO₂増加により懸念される問題

CO₂の増加による影響





ブルーカーボン：二酸化炭素の貴重な吸収源



出典:「Global Carbon Budget 2020 P.Friedlingsteinら」 単位:億トンC/年



愛南町沿岸の様子

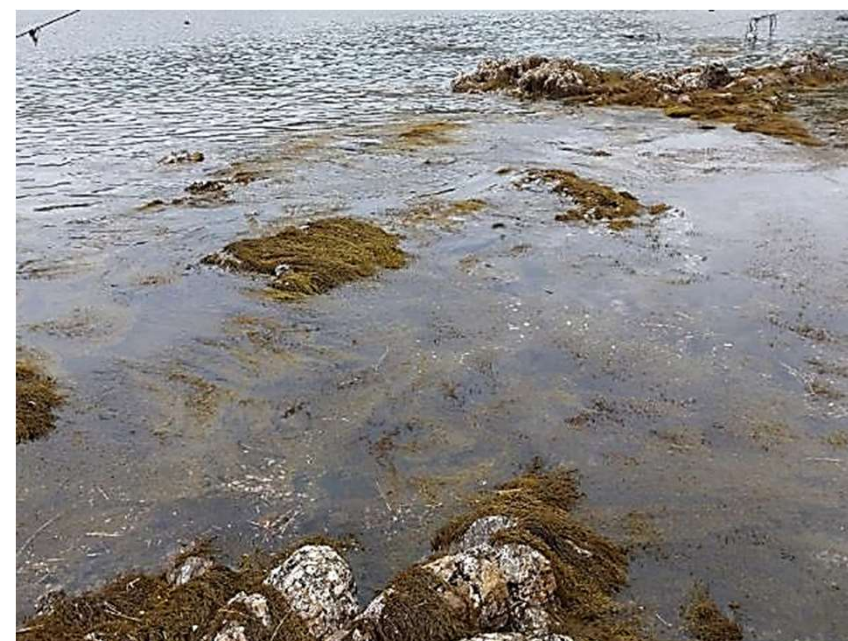
ウニ類の駆除作業



駆除前



駆除後 1 年



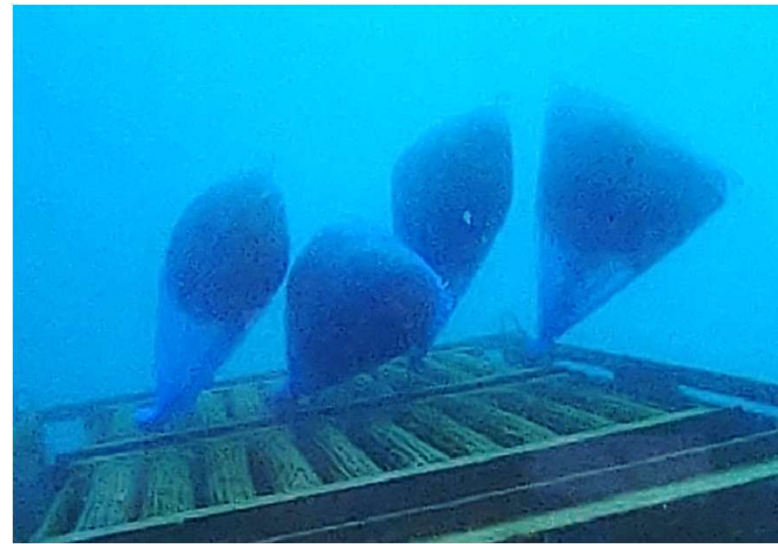
駆除後 2 年



海藻類の人為的供給



ヒジキ卵付着基盤



ホンダワラ母藻の設置



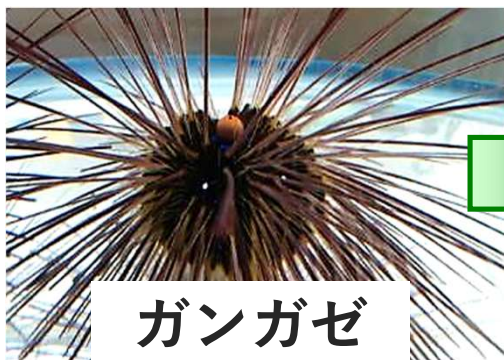
ヒロメ種苗付着基盤



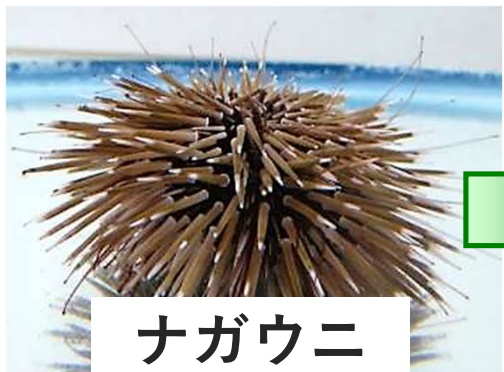
ホンダワラ種苗の移植



愛南町で生息密度の高いウニ類



ガンガゼ



ナガウニ



ムラサキ



- ・ 温暖な海に多く生息
- ・ 針は細長く、棘に毒あり
- ・ 摂餌量が比較的多い

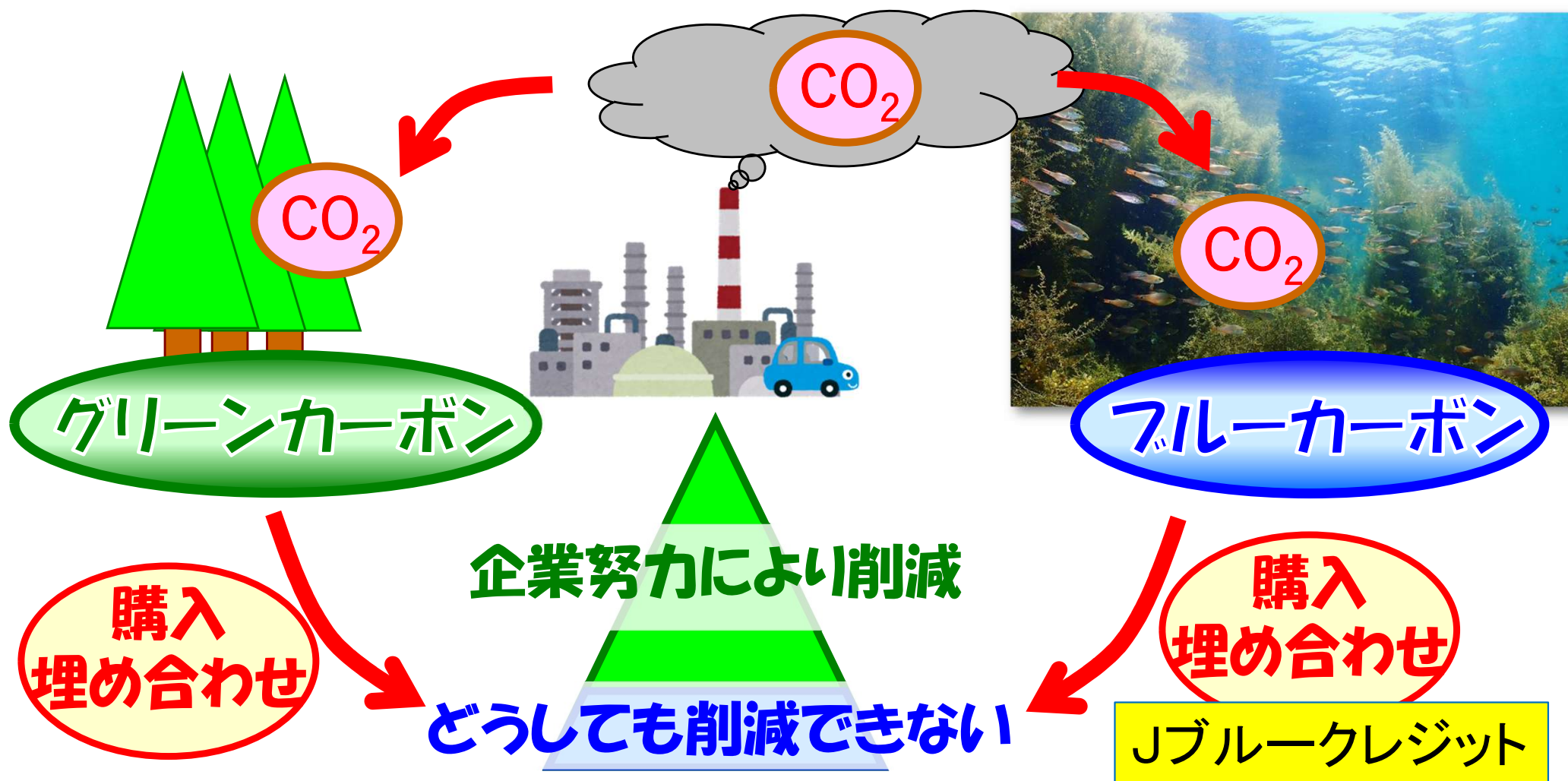
- ・ 独特の苦みや臭みあり
- ・ 甘味が少なく、味が薄め
- ・ 身入りは比較的良い

味変ができれば
食用も可能？

食用化に挑戦！！
『ウニッコリー』



カーボンニュートラル：温室効果ガスの排出を**実質ゼロ**を目指す





Jブルークレジット®への挑戦

愛南町内でのブルーカーボンの創出の現状は・・・

人の手によって創出されている
藻場はないか・・・

藻場の再生

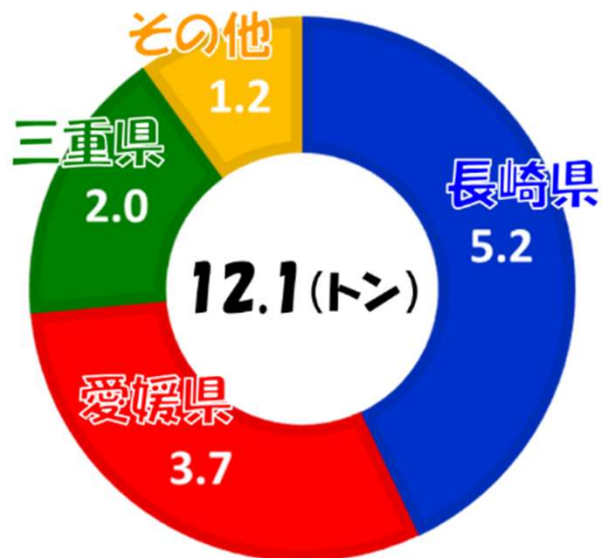
時間、労力、費用

簡単にはいかない・・・

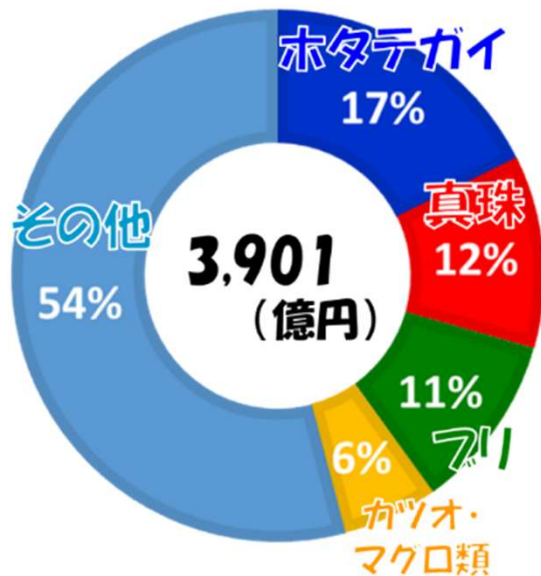


Jブルークレジット®への挑戦 ～愛南町の真珠産業～

真珠生産量(令和5年)



水産物輸出額(令和5年)



母貝養殖業者



愛南町は一大産地



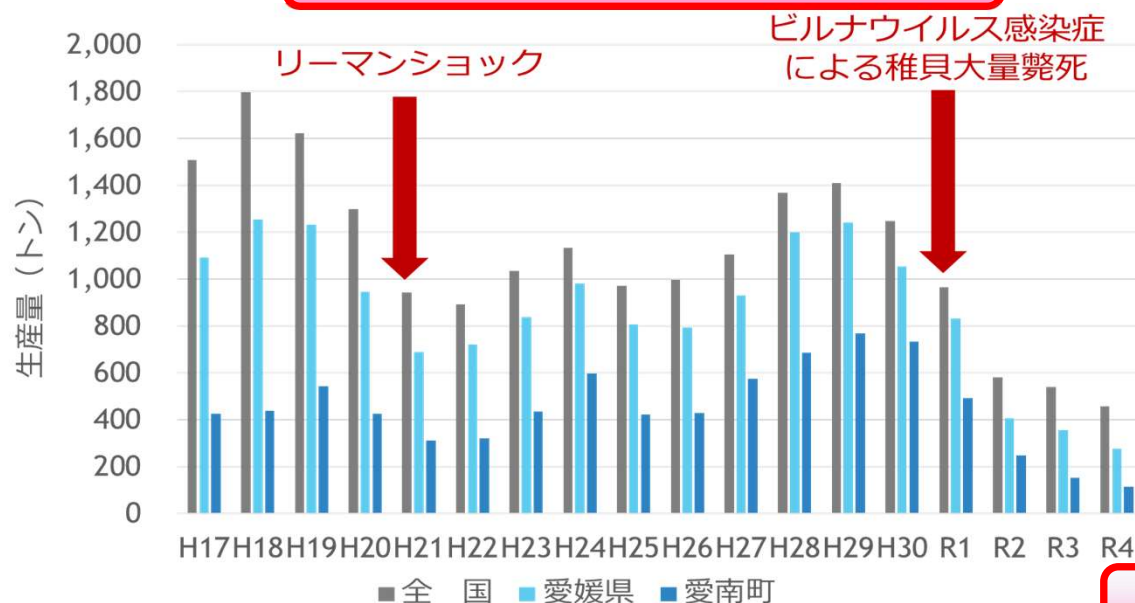
真珠養殖業者



真珠母貝生産量

⇒ 愛媛県**63.1%** (R5) を占める (**全国1位**)

真珠母貝の生産量推移



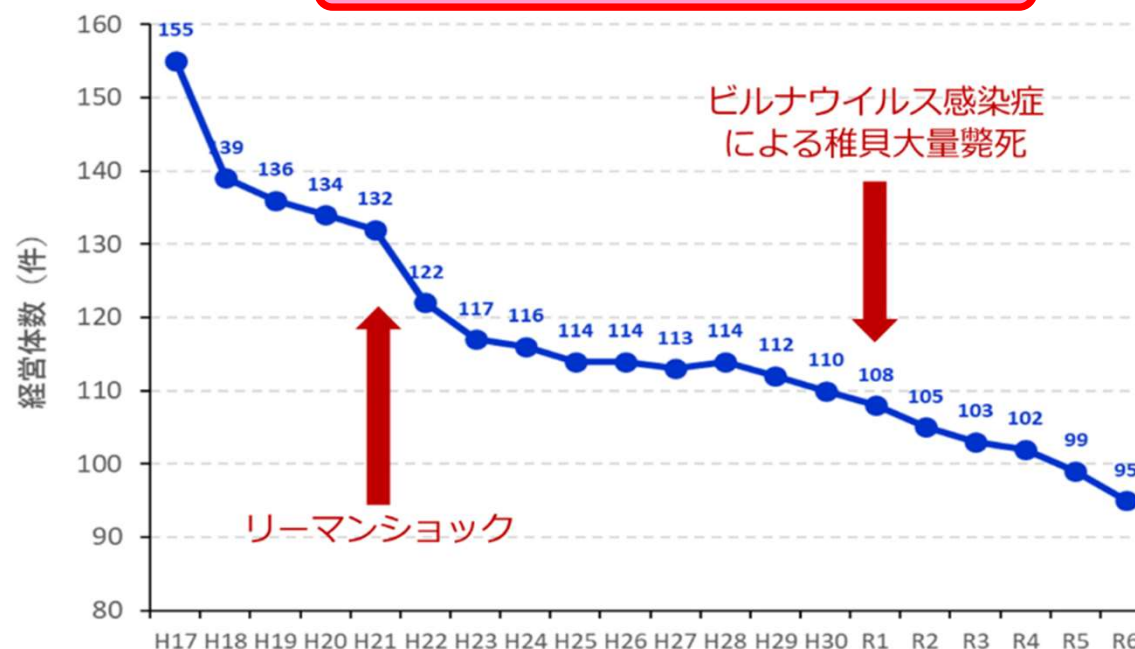
※愛南町の生産量は漁協把握分のみ
(個人の相対取引は除く)

真珠産業

- ・ 景気に大きく左右
- ・ 繰り返される大量斃死



真珠母貝の経営体数推移



母貝の生産不調
 ⇒ 真珠が生産できない
 ⇒ **国内真珠産業の衰退**

対策が遅くなるほど
 漁業者が減少
 安易に補助金などは禁物！



Jブルークレジット®の流れ



Jブルークレジット®への挑戦（貝類養殖筏での前例無し！）

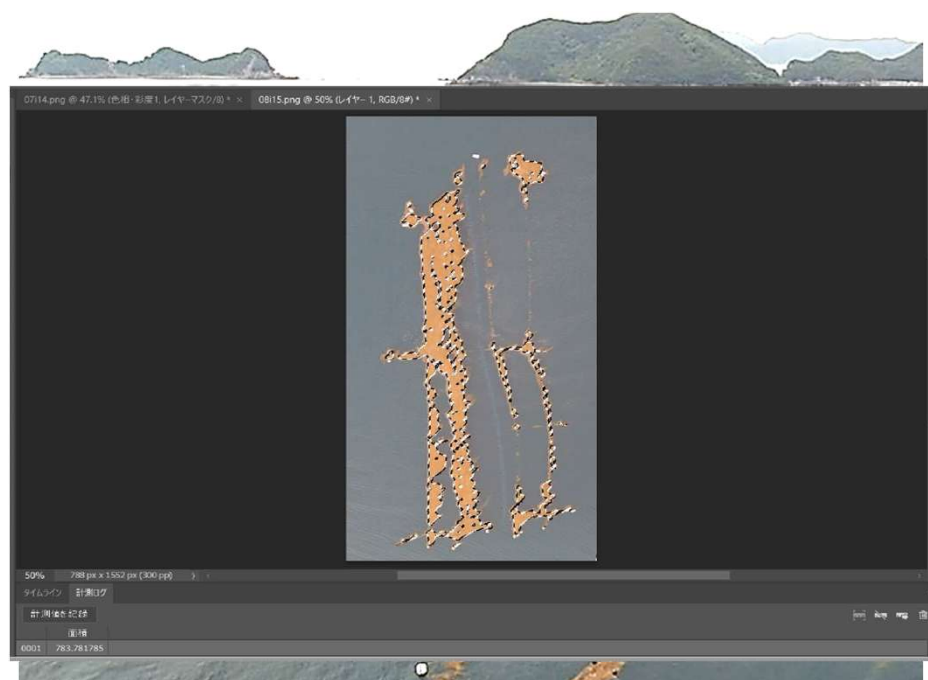


養殖筏のマメタワラの量

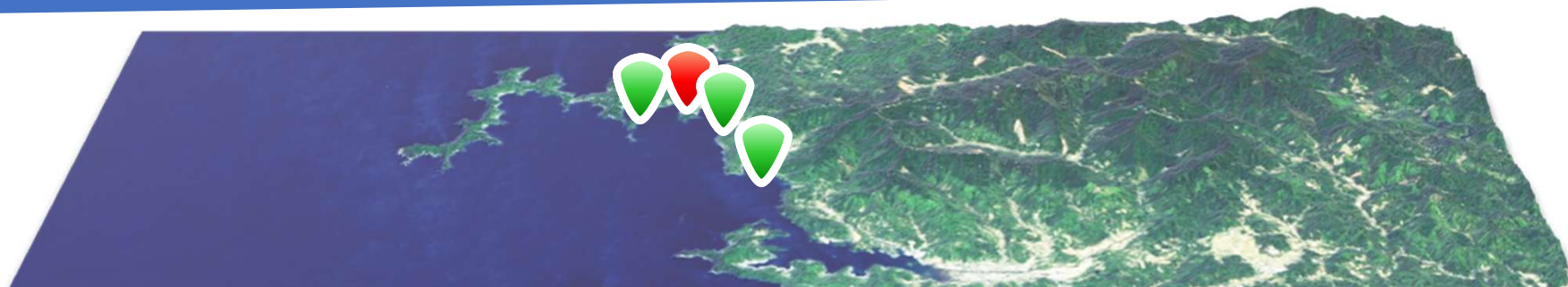
1.75ヘクタール

280トン

1年間に5.9トンのCO₂を吸収！
（≒ 杉の木420本分）



Jブルークレジット®への挑戦（貝類養殖筏での前例無し！）



Jブルークレジット発行証書 J-Blue Credit Certificates

愛南漁業協同組合 殿
 Ainan Fisheries Cooperative Association
 家串真珠母貝生産組合 殿
 Iekushi Pearl Oyster Producers Association
 国立大学法人愛媛大学 南予水産研究センター 殿
 Ehime University South Ehime Fisheries Research Center
 愛南町役場 殿
 Ainan Town

以下のとおり、クレジットを発行したことを証明します。
 This is to certify that we have issued the following credits.

Jブルークレジット発行量
 Amount of J-Blue Credits issued

5.9 t-CO₂

プロジェクトの名称: 未来に繋ごう！真珠のふるさと愛南町～若縄筏が生み出すブルーカーボンプロジェクト～
 Project name: Let's connect to the future! Ainan Town, the hometown of pearls ~ Blue carbon project created by trunk rope rafts ~

プロジェクトの種類: 自然系炭素除去
 Type of the project: Nature-based carbon removal

クレジット発行番号: 202312JBCT00003-00001 ~ 202312JBCT00003-00059
 Credit issue number

JBE

証書発行年月日 令和 6 年 3 月 19 日
 Certificate issue date March 19, 2024

国土交通大臣認可法人
 ジャパンブルーエコノミー技術研究組合
 Japan Blue Economy Association
 (The Japanese Ministry of Land, Infrastructure, Transport and
 Tourism-approved Collaborative Innovation Partnership)



申請年	マメタワラ 面積 (ha)	マメタワラ 重量 (t)	年間 CO ₂ 吸収量 (t)
R.5	1.75	280	5.9
R.6	7.09	1028.8	34.8

- ✓ 漁業者の漁労に関する負担軽減
- ✓ 漁場環境の維持・管理
- ✓ 水産人材の育成

産業を守る ⇒ 町全体が元気になる！



地域資源を活用した地域活性：海業

利用価値が無い、邪魔もの
⇒ **廃棄**処分するが多い



愛南町の貴重な資源と捉え、価値を見出す！

水産資源

景観・自然

産業


文化・歴史

水産＋農業・商業・観光・教育・・・との連携



町外から人を呼び込むことができる
魅力的なコンテンツを作成

地域資源を活用した地域活性：『**海業**』

An aerial photograph of a coastal town and harbor. The town is built on a peninsula with lush green hills. The harbor is filled with numerous small boats and fishing vessels. In the background, there are more islands and mountains under a blue sky with scattered clouds. The text "ご清聴ありがとうございました" is overlaid in the center of the image.

ご清聴ありがとうございました